

第1回山梨市下水道事業審議会議事概要

日 時 令和2年7月31日 13:30～15:00
場 所 山梨市役所 502会議室

委嘱式

1. 開会
2. 委嘱状交付

下水道事業審議会委員名簿（◎会長、○会長代理）

氏 名	備 考
飯 嶋 美 紀	男女共同参画推進会議副会長
大 宮 山 磐	都市計画審議会会長
○奥 平 洋 子	消費生活協力員会長
小 林 富 美 子	商工会女性部長
坂 本 隆	区長会副会長
新 谷 一 男	商工会会長
萩 原 雅 子	食生活改善推進員会長
◎深 沢 健 三	区長会会長
松 下 慶 麿	元市代表監査委員
武 藤 浩	区長会副会長

（50音順、敬称略）

審議会

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 委員紹介
4. 会長及び職務代理選出
5. 会長挨拶
6. 市長より諮問
7. 議事【出席委員：7名 事務局：下水道課長以下5名】

事務局より諮問内容、審議方法、前回審議会経過を説明

議事① 諮問内容について

下水道使用料について、過去三度の審議会において一般会計からの繰入の抑制と受益者負担の原則を基本とした中で、経営戦略に基づき令和6年までに3年ごとに段階的に見直しを行うこと。そして、一般会計からの基準外繰り入れ0とする目標に向け、今回の審議会でも料金改定について審議をお願いした。

議事② 審議の方法について

- (1) 委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- (2) 答申は10月中旬を目途に審議を進めていく。

(3) 審議会の開催日は以下のとおり。

本日7月31日、次回以降は8月24日、9月23日、10月7日、10月20日を予定。

議事③ 前回の審議会経過について

- (1) 水洗化を推進し、使用料収入の増加を図る。
- (2) 不明水（侵入水）を改善し、県流域浄化センターへの負担金の減少するよう財政健全化を図る。
- (3) 令和6年までの間、3年ごとに見直しを行うことを基本とする。

（質問、意見等なし）

議事④ 下水道事業経営戦略について

事務局より、平成29年度に策定した経営戦略について主な事項を説明。

- 近年、少子高齢化による人口減少や節水機器の普及に伴い、料金収入が減少している。また、同時期に大量に整備した保有施設の老朽化が進んできており、それらの設備の更新時期が到来し、費用負担が増加していく。これらを踏まえ、公共性と経済性を考慮しながら、中長期的な視点から客観的に整理し、下水道事業を経営していかなければならない。
- 戦略の基本方針は、令和6年度までに一般会計の繰入金のうち基準外繰り入れ（赤字補てん）を0とする。そのために3年ごとに使用料金の見直しを行うものである。
- 水洗化率は上がっているが、節水機器の普及等により、有収水量が減少している。また、不明水（侵入水）が約30%と近隣の市に比べても多いことがわかる。

（委員） 他市町村の料金動向を知りたい。

（事務局） 次回、用意します。

（委員） 節水機器とはどういうものか。

（事務局） 例えば、トイレやシャワーなど昔に比べ水量が少量でもわずらわしさを感じないよう改良されています。

議事⑤ 日程、その他

（事務局） 次回の日程は8月24日（月）に実施します。